

# 元気なひと なかま



きひら けいどう  
木平桂洞さん  
(書道家)

## ☺ 書道は生涯の友

20歳のとき、生涯を通じてできる趣味として「書道」を選んでから、はや65年が経ちます。

小さい時から習字の時間が好きでした。物静かに、じっくりと集中力を養えるところが、自分に合っていたのだと思います。

二人の先生に順に師事しながら、私自身も師範の免許状を取り、生徒に教えるようになりました。現在、家の近くの寺家会館、神戸公民館ほか7カ所で、100人を超える生徒を教えています。50歳から70歳代の方が中心で、書道、ペン字、筆ペンなど、生徒の関心に合わせて指導しています。

## ☺ 書道の真髄を後世に伝えたい

書道の魅力は、他のいろいろな雑念を忘れ、精神の統一ができることです。字を書くことは脳を活性化し、認知症の防止にもつながります。

私自身は、毎日早朝5時に起床して約2時間の研さんを続けています。日本の誇りある伝統文化を、後世に伝えていくのが私の務めだと考えています。

6月1日から29日まで、百五銀行白子支店で作品展を開催します。記念すべき50回目にあたる今回は、書体はもちろんのこと、紙の色や墨の濃淡にも多彩な変化を付けるよう心掛けました。一人でも多くの方に、これからも書道の魅力を伝えていきたいです。



# 関え! モータースポーツの鈴鹿人

鈴鹿市・矢橋町でオートバイの部品を製作する企業、有限会社ケーアンドティーを経営する高田孝慈さん。かつてオートバイレースの世界選手権に参戦した、「日本人ライダーによる世界挑戦」の先駆けとなった名選手です。

そんな高田さんがプロライダーを引退してから15年の時を経て、再び本格的なレースの舞台に戻ってきました。今年は「鈴鹿サンデーロードレース/J-GP3」(250cc)のレースに参戦。同シリーズで好成績を挙げると秋の全日本選手権(鈴鹿)への参戦資格が得られます。

49歳という年齢での現役復帰は驚異的なチャレンジ! 既にいらっしゃるお孫さんの前で活躍する姿を見せるのが夢だとか。10年以上ぶりにレースへの情熱を抑えきれなくなった名選手の挑戦に大注目です。同世代の方は感情移入してしまうかもしれませんね。



高田孝慈選手(レーシングライダー/鈴鹿J-GP3参戦中)

## ■ 語り手 辻野 ヒロシ

鈴鹿サーキット実況アナウンサー・鈴鹿モータースポーツ友の会副理事長

## 広報すずか 2012年6月5日号

### キーボード

先月の金環日食をご覧になられた方も多くはないでしょうか。私もその一人。通勤の合間に少しだけ見ることができました。あいにくの曇り空ではっきりと見ることはできませんでしたが、神秘的に輝き、雲の合間から見え隠れする黄金の輪に心を奪われました。

太陽、月、ダイヤ、ゴールド…そう考えると、人間は光り輝くものに興味がわく習性があるのかなと思いました。

この時季、市内で光り輝くものといえばなんといっても「ホタル」です。庄野町と西庄内町のホタルが特に有名で、ここで行われる地元主催のイベントは、市制施行70周年記念市民事業にも選ばれています。

詳しい内容は、広報すずか5月20日号や市ホームページでも掲載しています。鑑賞ルールを守って、幻想的な光の舞いをお楽しみください。(直)



鈴鹿市携帯サイト  
「元気モバイル」

■発行/鈴鹿市 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 ☎059-382-1100 (代表) 🌐 <http://www.city.suzuka.lg.jp/>  
 ■編集/企画財務部秘書広報課 ☎059-382-9036 ☎059-382-9040 📧 [hishokoho@city.suzuka.lg.jp](mailto:hishokoho@city.suzuka.lg.jp)  
 ■印刷・制作/指定就労継続支援事業所 第2八野ワークセンター印刷係 ☎059-375-4381 ☎059-340-8810



古紙配合率100%再生紙を使用しています。この冊子は資源ごみの「新聞」に分別してください。